

タイ・プーケットで地球環境保全体験を！！

DIA キャンペーン

ドリーム アイランド アゲイン

～夢の島へ、もう一度～



DIA
Dream Island Again
Campaign. Phuket, Thailand

DIAキャンペーン実行委員会

活動目的

DIA(ドリーム アイランド アゲイン)キャンペーンとは

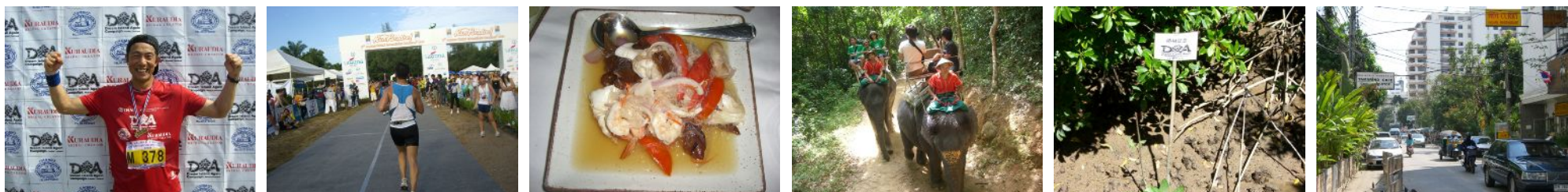
タイ・プーケットと縁のあるタレント森脇健児が「島のために何かできないか」という提案をきっかけに取材などでタイを訪れたことのあるテレビ制作会社やタレント事務所を中心に、実行委員会を組織して2008年からはじめられた社会貢献活動です。

森脇健児が初めてプーケットを訪れたのは、今から10数年前某男性化粧品のCM撮影でした。その後何度となく撮影で訪れるたびに青い海や刺激的なタイ料理、そして人の微笑みに接するたび忙しい日常から解放される自分が実感でき、どんどんプーケットの魅力に惹かれて行きました。そして新婚旅行、家族初海外旅行もプーケットと大のプーケット鼻根となっていました。

その後、テレビラジオで多忙になりプーケットに行けない時期が続いていました。そして2004年12月26日、あの津波が島を襲ったのです。現地での死者は5,305人にもおよびました。しかしこの大被害に対してタイ政府はもちろん世界的規模の支援により急ピッチで復旧作業が進められた結果、街は完全に復活し以前のようにドイツを中心としたヨーロッパ各国、オーストラリアから多くの観光客が訪れる至福のリゾート地となりましたが、どうしたわけかあれほど訪れていた日本人観光客の姿が激減してしまいました。

そこで元気なプーケットをアピールするため2006年6月「プーケット国際マラソン」がスタートしました。この情報を耳にした森脇健児が「自分でできることはなにかないか」と考えた結果、森脇自身がフルマラソンを走り「楽しいそして元気なプーケット」をアピールする。そしてもう一つは世界的に提唱されている地球環境保全を目指してプーケット島の東側海岸沿いに広がるマングローブ林に毎年苗木の植樹を行い結果、津波などの自然災害から守る強い島作りに少しでも役立てればという思いを込めてはじめられたのがドリームアイランドアゲインキャンペーンなのです。このネーミングには森脇健児が10数年前初めて訪れその魅力に引き込まれていった至福の楽園プーケットをもう一度あの時のようにという願いが込められています。

また丹波で農家を営みながら音楽活動を続ける関西ブルースハーブ奏者「足立安弘」も、今回のキャンペーンに同行参加いたします。



プーケット国際マラソンについて

2006年から開催されているプーケットマラソンは年々参加者数が増えているとはいえまだまだローカル色豊かな大会です。2009年の大会にはフルマラソンに約350名が参加、ハーフ、ミニマラソンを合わせると4,000人以上が参加しました。

マラソンコースは元気になったプーケットを全て満喫できる設定で最高リゾートエリアラグーナをスタート、ゴールに美しい海沿いはもちろん、朝の市場や水牛の横、ローカル感漂う住宅地などを走りぬけて行きます。そのコースはまさにタイの万華鏡を見て走るマラソンです。

またレースの運営はGO ADVENTURE ASIA（本部オーストラリア）が担当し距離表示はもちろんエイドステーションも充実、スポーツ飲料をはじめスイカやバナナなどが用意され南国の島のマラソンをサポートします。また完走者全員に豪華なメダルも贈られます。



活動実績

第1回目植樹活動(2008年6月14日実施)

森脇健児を含むDIAキャンペーン実行委員会メンバー9名で、150本のマングローブを植樹しました。



第2回目植樹活動(2009年6月13日実施)

2回目の植樹はタイ国政府観光庁大阪事務所の協力を得、森脇健児以下18名が参加し、200本の植樹を行いました。

これまでのマスコミ参加者

毎日新聞 サンケイスポーツ ニッカンスポーツ ランニングマガジン ランナーズ クール(順不同)



マングローブの植樹活動

・マングローブ植樹が今注目を集めている!!

マングローブとは、熱帯から亜熱帯の海水に浸る土地に生育する植物です。

海岸沿いにマングローブを植樹することによって、マングローブの林が生まれ、やがてそこには蟹などの生物が住み、はじめその生物を求めて魚が集まって来るという。今地球に求められている環境保全。これからの世代のため今できることの一つそれがマングローブ植樹なのです。また津波のエネルギーを吸収し、大きな津波が襲ってきてもマングローブの森が島を守るので津波に負けない強い島を作ることが出来ます。2004年12月に大打撃を受けたプーケットには最も必要で欠かせないものといえます。

2008年6月13日、第1回目のマングローブ植樹が森脇健児他8名が参加して猛暑の中150本のマングローブを植樹しました。そして第2回目は2009年6月14日に実施し参加者18名が200本の植樹を行いました。マングローブは植樹後約10年で成木となるといわれており1年目の植樹の木150本が成木になるまでの10年間実施を目指して活動を続けていく予定です。

・植樹場所

プーケットタウンの近くにある海洋資源局第2マングローブ林資源開発研究所の裏手に広がる広大な河口付近が植樹場所です。プーケットでは昔はマングローブ林がたくさんあったといいます。しかし燃料として使用するため乱伐され続けた結果その面積は驚くほど減少しました。そこで国のプロジェクトとして2004年の津波以前からマングローブの植樹をはじめてきました。

現在そのプロジェクトは、すでに茂っているマングローブの間に苗木を植えていき、さらに強靱な防風林として機能した自然の宝庫として再生させようというところに来ています。

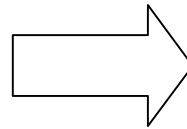
海洋資源局第2マングローブ林資源開発研究所所在地
【地区名：タラート・ヌア地区（タンボン・タラート・ヌア）】



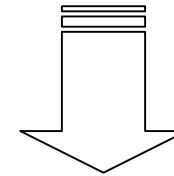
DIAキャンペーン協賛について

スポンサーメリット

**協賛金
一社:25万円(税別)**



- ・社内報などで森脇健児の写真使用
- ・社員の研修参加で就労意欲向上
- ・株主総会にてマングローブ植樹活動報告
 - ・社会貢献活動を広くアピール
- ・リクルーティング時での地球環境保全PR
- ・御社公式HP、チラシなどへの掲載
- ・御社企業ロゴ入りTシャツ制作



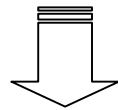
参加後: DIAキャンペーン実施報告書とともに
 プーケット国際マラソン及びマングローブ植樹時の映像
 資料、スチールデータ・スタッフTシャツ・感謝状をお渡し致します。

CSR活動を提唱し、地球環境保全に取り組む御社のイメージUPを目指します。

DIAキャンペーン同行研修のご案内

研修予定(6月11日～15日)

- 11日(金) 午前関空発 夕刻プーケット着
- 12日(土) マングローブ林にて植樹体験
- 13日(日) 第5回プーケット国際マラソン
フル・ハーフ・10.5^キ出場又はエイド
ステーションでボランティアとして参加
- 14日(月) 島内観光～夕刻プーケット発
- 15日(火) 早朝 関空着



参加費用

お1人様:25万円(税込)
内 訳:渡航費、食費
マラソン参加費など全て含む

参加意義

- ・自らが実体験することにより、地球環境保全への意識の高まり。
- ・タイの今の姿、イベントに接することにより自己のスキルアップを計り、経験を広くアピールできる。



番組放送(予定)

2010年8月放送予定で今回のDIAキャンペーン活動報告をJCOMチャンネルにて紹介し、さらに多くの方の参加をアピールします。
 ※29分番組を5回放送(予定)


森脇 健児から

大好きなプーケットが津波によって大きなダメージを受けたのもショックでしたが、その後、復興を遂げたにも関わらず日本人が訪れなくなると知り、そのことの方が信じられなく、僕に何かできないかと考え知り合いのこれまたタイを愛するスタッフに相談したことから始まったのがこのDIAキャンペーンです。2008年の第1回目は2社の企業に賛同していただきスタートしました。そして2009年の第2回目はタイ国政府観光庁大阪事務所からの資金援助を受け前回の倍の18名というメンバーで活動することができました。今どきは何事も始める前からやれそれは無理だのちょっと難しいだの否定から入る人が多く、結局なにもはじまらないことが多すぎませんか。しかし僕の思いつきを話した時、たとえ無理だったとしても、とにかく自分たちで、できるだけやってみよう前向きに動いてくれたスタッフに今は感謝です。

そして2回の活動で同行した新聞記者の方、ランニングマガジンライターの方からこのキャンペーンの意義に賛同の言葉をいただき少なからず確かな手ごたえも感じています。今年の植樹の際、1年前に植樹した苗が約2倍の高さに成長しているのを見たとき成木になるまでの10年は続けなければと心に誓いました。

さあ皆さんも僕と一緒にプーケットに行き、泥んこになってマングローブの植樹をしましょう。
そしてマラソンに参加し汗をかくのもよしエイドステーションで声の限りにランナーに声援を送り、元気をもらうもよし、とにかく一緒に体験しましょう。

たった数日の経験が今後のあなたの会社そしてあなた自身の人生にプラスになること違いありません。



平成21年9月吉日 森脇 健児



森脇健児プロフィール

森脇 健児 もりわき けんじ

1967年2月5日 大阪府枚方生まれ。

高校3年の時に「第1回松竹芸能タレントオーディション」に合格し、タレントに。20代半ばから全国区の人気者となりテレビ・ラジオなどで幅広く活躍、30代半ばから活動の場を関西に移す。何事にも手を抜かず真っ向から取り組む常に熱い芸人としてふたたび注目を浴びている。また「走ることを人生の楽しみ」の一つとしており、その姿は半期に一度の特番「芸能人感謝祭」での名物企画駅伝コーナーで見ることができる。

～陸上歴～

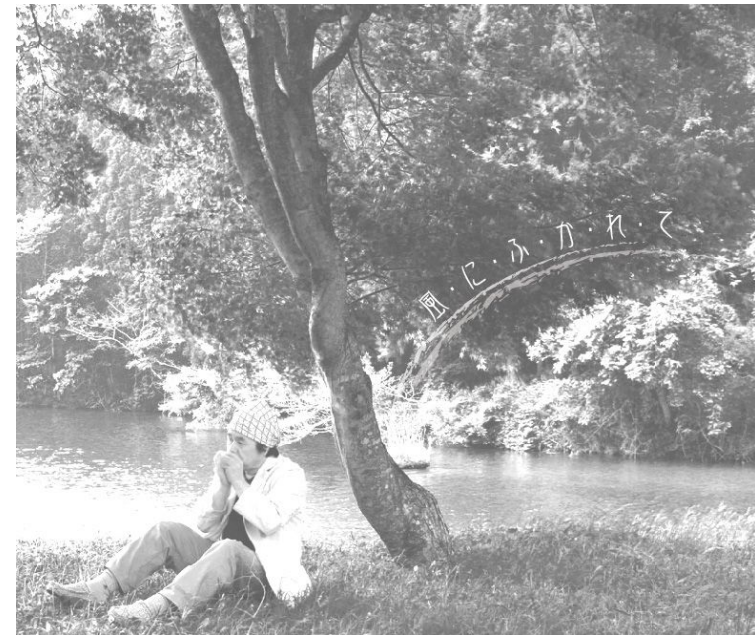
洛南高校陸上部に所属しハンサムな短距離アスリートとして人気の的となる。100m11秒2を記録し、インターハイにも出場する。現在、走る男としてTV番組に出演であるが、以外にもフルマラソン出場は4回のみ。2009年ポケットマラソンは5時間5分55秒完走。現在は常に目指していた「記録を求めるアスリートの」な走りから、楽しみながら走る「ファンラン」の術を習得中。



足立 安弘 プロフィール

足立安弘(あだち やすひろ)ブルースハーブ奏者

- 兵庫県丹波市青垣町在住。1953年兵庫県に生まれる。
- 1993年 Hohner(ホーナー)社主催の「全日本ハーモニカ・コンテスト」のブルース・ハーブ部門で準優勝。
- 2000年、イギリスで開かれた世界ハーモニカコンテストに単身渡英、エントリーし、観客総立ちの喝采を受けるも、後にエントリー部門を間違っていたことが判明し、惜しくも受賞を逃す。
- 2002年 神奈川県厚木市で開催されたアジア・太平洋ハーモニカ・コンテストのシングル・ディアトニック・ハーモニカ部門で銀賞受賞。この時は客席で演奏を聴いていたリー・オスカー氏がいたく感銘し、審査中にもかかわらず、思わず「Beautiful!」と叫んでしまったという逸話は関係者の間では有名。
- 現在、大阪京橋のヤマハPMS(ポピュラー・ミュージック・スクール)で講師を勤める。
- 北播磨、小野、加西などの特別支援学校訪問学級で音楽の特別講師を勤め、福祉の関係でのハーモニカという楽器の可能性を探っている。
- 丹波の田舎で農業(主に米作り)をしながら音楽活動も続けるという「半農半音」生活を営む。週末や農閑期には、大阪、神戸、京都など近畿圏を中心に、声が掛ければ遠くは東京にまで足を伸ばした演奏活動をこなす。
- 2005年8月には癌と戦うフォークシンガー東田さんのサポートとして日本テレビの番組「24時間テレビ」に出演し、SMAPの木村拓哉氏と共演。また、NHKの朝の連続テレビ小説「風のハルカ」でハーモニカ指導を行い、ソフィアの松岡充氏演じる「猿丸」が演奏したブルースハーブの吹き替えを担当した。



実施概要案

DIA キャンペーン

- 開催日 平成22年6月12日(土)～13日(日)※雨天決行
- 場所 タイ王国プーケット島

- 主催 DIAキャンペーン実行委員会
- 協力 タイ国政府観光庁 タイ国際航空
- 後援 タイ王国大阪総領事館

DIAキャンペーン実行委員会

- 委員長 伊東 宏明 (株式会社 メディアプルポ)
- 委員 紀井 英顕 (松竹芸能 株式会社)
 藤原 浩平 (株式会社 ネクストワン)
 岩田 彰之 (イワタクリエイト株式会社)
 中野 公樹 (有限会社 くじら)
 吉本 昭雄 (THAINCHU Co.,ltd BANGKOK)

お問い合わせ先

イワタクリエイト(株)内 DIAキャンペーン実行委員会 担当:岩田
 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町1-3-23

TEL 06-4705-9120 FAX 06-4705-9121

